

広

報

しべつ

10
1996

萌える海と大地 さわやか交流郷

No. 356



◆ 友好都市・青森県大畑町を
訪ねて…

◆ 過去最高の680匹の釣果
オールジャパン

サーモンダービー

「知床旅情で再会を誓う」

8月26日・27日の二日間、「標津町いるかの会」をはじめとする訪問団一行32人が友好都市の青森県大畑町を訪問しました。

26日の大畑町との交流会では、「しべつとどわら太鼓」と大畑町の伝統芸能の「もちつき踊り」などが披露され、郷土芸能での交流も行われ、会場は友好の輪が広がりました。最後に知床旅情を全員で合唱し=写真=、再会を誓いました。

大畑町を訪ねて……

「標津町いるかの会」をはじめとする訪問団（五百木秀夫団長）一行三十二人が、八月二十六日・二十七日の二日間にわたり、本町と友好都市である青森県大畑町を訪問し、交流会などを通じて友好のきずなを深めました。

この機会に大畑町のまちと、交流のようすなどを紹介するため、同行取材しました。

●友好都市盟約の経過

友好都市盟約は、昭和五十四年の標津町開基百年記念事業の一環として、教育・文化・産業・観光など行政各般の分野にわたり幅広い交流を通じて友好親善を図り、互いの町民福祉と町政の健全な発展を念頭に置き、かつ本町と気候風土・産業経済の類似性を基本に本町住民の出身者が多い青森県を中心に友好都市の選定が進められました。

その結果、経済構造・産業基盤

等が類似しており、また標津村初代戸長であった横宗説氏の出身地でもあるという歴史的背景を考慮して大畑町を選定しました。

大畑町からも友好都市盟約に積極的な好意を得、昭和五十四年二月十一日青森市において標津・大畑両町長により盟約の調印がなされました。

●大畑町の概要

▽人口 一万四百四十七人

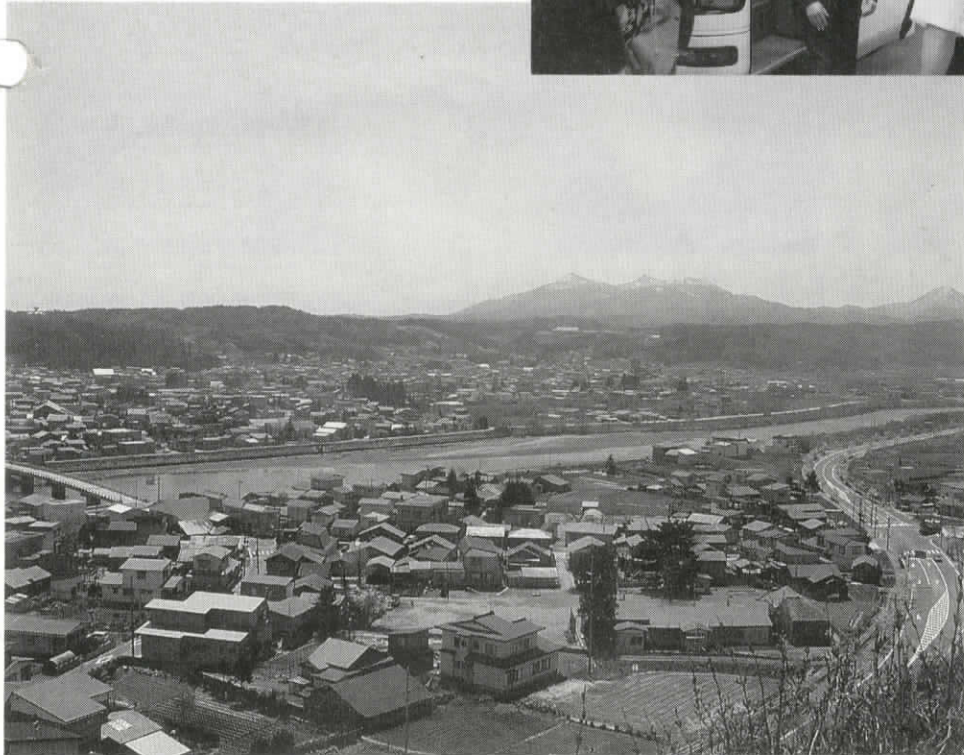
▽世帯数 三千五百六十三世帯

（※平成八年八月一日現在）



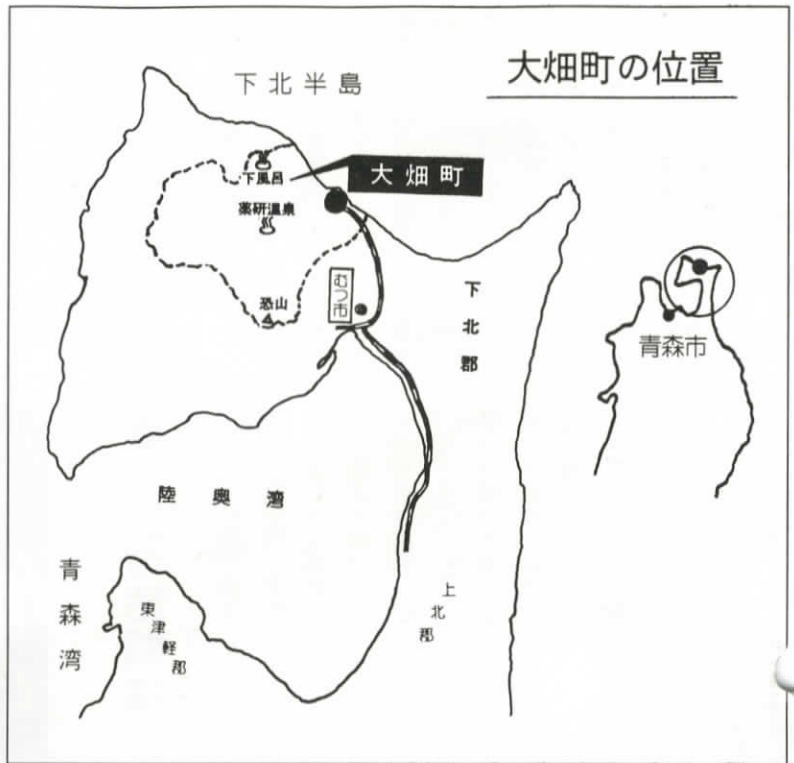
大畑町到着。訪問団を出迎える川端大畑町長（右から二人目）

大畑町は、青森県の北東、下北半島の北辺中央部に位置し、北部は津軽海峡に面し、南部は恐山山系をはじめとする三百〜八百メートル級の山々に囲まれています。平野部は山地中央部から流れる大畑川、宇曽利湖から流れる正津川、両河川の下流域七平方キロメートルで、このうち大畑川河口付近一・八平方キロメートルで中心市街地を形成しています。町総面積二百三十五・五九平方キロメートル



大畑町の町並み

樹齢三百年から六百年の日本三大美林の天然青森ヒバの産地



ルのうち森林が約九五・一%を占めています。

気候は、冬は日本海型に分類され、北西の季節風が強く、積雪は平野部で約一m山間部は二mに達します。夏は太平洋型に分類されますが、春からの冷涼な偏東風と濃霧のため、平均気温が低く、日照時間も不足しがちとなります。

産業

イカ漁とヒバ材の生産のまち

イカ漁を中心とする漁業と、天然青森ヒバ材を生産する林業が主な産業。

漁業では、総水揚げの九二%を

イカが占めます。近年、ドナルドソン系のニジマスの海中飼育を手掛け「海峡サーモン」として売り出しており、つくり育てる漁業にも力を注ぎ、活力ある漁業振興を目指しています。漁業生産額は、年間約二十億

円。

林業とそれを中心とした工業は、希少価値のある「ゴールデンウッド(黄金の木)」と呼ばれる樹齢三百年から六百年の日本三大美林として有名な、天然青森ヒバを生産。肌ざわり、香り、強さ、堅さ、殺菌性にも優れていることから建築用材をはじめ、身近な家庭内調度品などに加工され、製品として人

両町の今日までの交流

- ▶昭和54年2月 標津町・大畑町友好都市盟約締結(調印)
- ▶昭和54年4月 標津町開基百年記念式典に大畑町より出席
- ▶昭和54年7月 大畑町役場庁舎落成式に標津とどわら太鼓一行が祝いの太鼓を披露
- ▶昭和57年8月 大畑町より親善交流団来町(壮年による野球大会)
- ▶昭和58年8月 大畑町で剣道親善交流
- ▶昭和60年8月 標津町で剣道スポーツ少年団交流
- ▶昭和61年6月 標津町民生委員協議会親善訪問
- ▶昭和63年8月 大畑町より歴史家を招へいして歴史講演会開催
- ▶平成元年8月 標津町で剣道スポーツ少年団交流
- ▶平成2年7月 大畑町で剣道スポーツ少年団交流
- ▶平成4年5月 大畑町民生委員協議会親善訪問
- ▶平成4年9月 大畑町行政機関・団体等代表者親善訪問
- ▶平成4年10月 標津町婦人団体親善訪問
- ▶平成5年8月 友好都市盟約締結15周年記念大畑町友好訪問(標津町内各団体の代表による)
- ▶平成7年9月 大畑町民間訪問団「おみごとの会」来町
- ▶平成8年8月 標津町民間訪問団「いるかの会」親善訪問

気を集めています。

観光

日本三大霊場の恐山と薬研温泉がある

日本三大霊場の一つとして有名な恐山(おそれさん)をはじめ、大畑川の美しい渓谷に沿って広がる

原生林に囲まれた静かな薬研（やげん）や下風呂などの温泉があります。

郷土芸能

人々を魅了する

“大畑祭り”

今から二百七十年以上も前から始められたといわれる。「大畑祭り」は御みこしの渡御が行われ、みこしを中心に各役人、神楽、山車が行列をつくり、町内を巡行、華麗な祭り囃子が人々を魅了するなど、古式豊かな祭典が催されています。

また、約二三十年前、下北半島は、「ヤマセ」という冷たい東風ばかり吹くことから作物の不作で、村のお百姓さんがその春秋の実りを神様に祈りながら植え付けたところ、見事な豊作となり、小目名のお百姓たちは喜び合い、もち米の餅を次々といっては食べ、食べてはつき、秋の夜長を踊り明かしたと伝えられる「もちつき踊り」。

この踊りは、昭和四十七年に小学一年生から民族文化の継承として授業の中で取り入れ、町民に親しまれ、町の祝いごとの場や地域の運動会などで輪となり楽しい踊り合いを演じています。



今回の訪問団の皆さん（大畑町・奥薬研温泉にて）

●今回の訪問は…

今回の訪問団は、平成五年に
有好事都市盟約締結十五周年
記念として大畑町を訪問した各団
体の代表者が、両町の民間レベル
での交流を推進することを目的に
「いるかの会」結成、このほどの訪
問に一般の町民にも参加を呼びか
け、大畑町を親善訪問することに
なりました。

五百木秀夫標津町森林組合長を
団長に一行三十二人が八月二十五
日、午前七時三十分役場前をバ
スで出発。登別市に一泊した後、
翌朝、函館港からフェリーで青森



会場から大きな拍手が送られた「しべつとどわら太鼓」（上）。230年もの伝統がある大畑町の「もちつき踊り」（下）



県大間港へ。同港からバスで一時間三十分ほどで、大畑町には午後五時ごろに到着しました。

その夜、大畑町主催の歓迎交流会が町民体育館で開かれ、大畑町からは、川端一義町長ら三役、教育長、笹田栄次郎町議会議長、商工会長、観光協会会長、婦人会長など約八十人の歓待を受けました。

席上、川端町長は「標津町の産業、文化など学ぶ点が多い。今後とも長い交流をしていきたい」と、五百木団長は「町長、議長をはじめ大勢の方々の歓迎ぶりに感謝している。今後も意義ある友好親善を続けていきたい」とあいさつ。

続いて、川畑二郎副団長から川

端町長に、細見浩氏作の国後島と流水が描かれた版画「さい果ての海」の記念品の贈呈が行われ、この後、今回の訪問団に同行した「しべつとどわら太鼓保存会」のメンバーによる太鼓演奏を披露。標津の雄大な自然をテーマにした見事なパチさばきに会場から大きな拍手が送られました。

大

畑町の皆さんは「こんなすばらしい太鼓は見たことがない」「感激した。またぜひ見たい」などと、大好評だったことから、この日のために猛練習を積んできた太鼓のメンバーも「これで大畑に来た甲斐があった」と満足げに話していました。

また、大畑町からは、婦人の皆さんによる伝統の「もちつき踊り」や「流し踊り」を披露し、郷土芸能での交流を深めることができました。

テーブルには、大畑町の皆さんが腕を振るったイカの刺し身、焼きイカ、イカの酢みそあえなどの数々のイカ料理のほか、売出し中の海峽サーモンの刺し身料理などが並べられ、特にイカの刺し身の活きの良さにびっくり。訪問団の皆さんからは「おいしい」と好評。各テーブルでは料理を食べながらグラスを傾け、自己紹介を行い、自分たちの町の情報交換をしながら友好を深めました。

若い人たちの
交流を望む

〔大畑町〕



榎 茂理さん
(町行政相談員)

標津町を見習う点が多い。これからは、若い人たちが交流してほしい。そして、文化・芸能・教育・経済面で幅広い交流をして、互いのまちの発展を期待したい。

もっと大畑町の
まちを知りたい

〔標津町〕



田村君江さん
(町消費者協議会長)

もっと大畑町のことを知りたいので、日程の都合もあると思うが、交流の時間をもう少しとってほしい。また、互いの産業の施設やその活動を見学できればと思う。

人的交流から
産業交流を

〔大畑町〕



菊池 清さん
(町体育協会事務局長)

地域同士の親子でのスポーツ交流を望む。今後は、人的交流から産業(経済)交流ができればと思う。本州と北海道をつなぐ接点として。

イカとサケの産業
交流ができれば

〔標津町〕



千葉 元さん
(町観光協会会長代行・とどわら太鼓保存会会長)

年に一度は、お互い交流したいもの。郷土芸能でも多くの交流をしたい。イカとサケを通して産業交流ができれば。今回の大畑町のまちをあげての歓迎ぶりに感謝している。

背伸びしないで
末長い交流を

〔大畑町〕



畑中曜子さん
(少年補導協力員)

今のままで末長く、互いに背伸びしないで交流していきたい。四年前に標津町を訪問したが、すごく良い所。まちは明るく、広く、サケがいっぱい。互いによいところを見つけ、互いに発展できればと思う。

両町の今後の交流は：(五人に聞きました)



「末長い交流を」と川端町長(右)、「今後も意義ある友好親善を」と五百木団長がそれぞれあいさつ

最後に出席者全員で、標津村初代戸長・榎宗説氏の遠縁に当たる榎茂理さん(大畑町行政相談員)の指揮に合わせ「知床旅情」を歌い、再会を約束しました。

訪問団の一行は翌日、大畑町内のヒバ試験林や木工芸センター、日本三大霊場の恐山などを見学。中でもヒバ試験林内の樹齢三百年から六百年の大経木を目の当たりにし、訪問団はその大きさに驚き、その山々に囲まれ、標津町とは、またひと味違う恵まれた大自然を堪能しました。その後、大畑港からフェリーで



室蘭港に。室蘭市に一泊した後、バスで帰路標津町に向かいました。今回の大畑町訪問は、参加者それぞれがテーマを持ちながら、両町の親善交流がさらに深まった意義のある訪問だったと思います。



ヒバ施設試験林(左)と木工芸センターを見学する訪問団



釣果は“豊漁” 過去最高の680匹

第9回

オールジャパン サーモンダービー

全国各地から太公望が
豪快なサケ釣りを
満喫！

★歴代グランドチャンピオン★

	氏名 (敬称略)	重量 (kg)	体長 (cm)
第1回	小田 範之 (釧路市)	4.62	78.0
第2回	河崎 広志 (釧路市)	5.38	77.0
第3回	野呂 文和 (札幌市)	4.50	75.0
第4回	保科 清 (中標津町)	5.54	80.2
第5回	熊谷 和則 (弟子屈町)	6.50	82.2
第6回	伊藤 喜佐雄 (中標津町)	6.66	83.0
第7回	島口 秀雄 (札幌市)	5.44	77.0
第8回	板垣 一雄 (中標津町)	6.62	85.0
第9回	小谷 俊憲 (門別町)	7.42	89.0



今回のサーモンダービーには釣り愛好家の俳優・根津甚八さんも参加。二日間で四匹とますますの釣果に笑顔がこぼれ、根津さんは「楽しかった。来年も来たいと思います」と話していました。
また、忠類川でのサケ・マス有効利用釣獲調査にも挑戦。見事、カラフトマスを釣り上げ、満足した様子でした。

俳優の根津甚八さんも
も参加しました

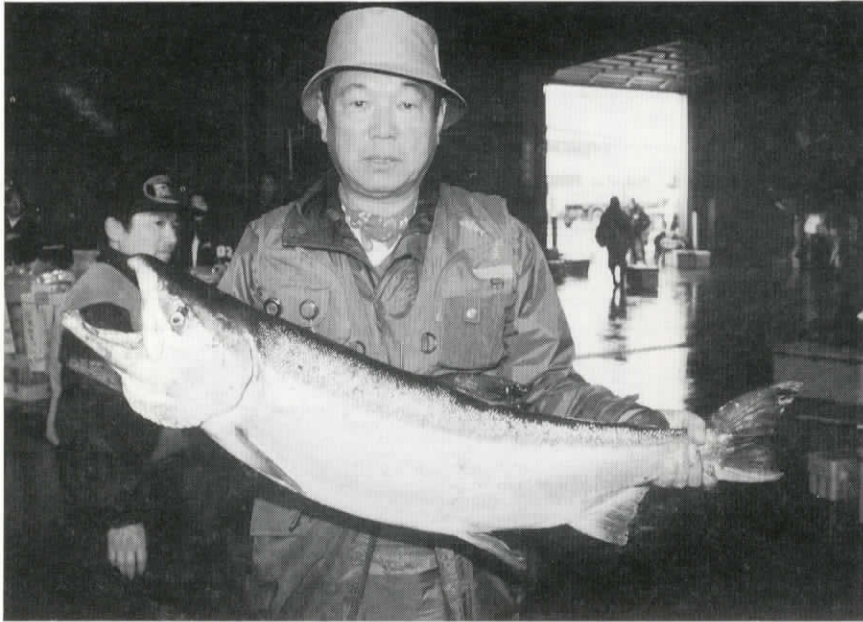


全国各地から集まった釣り愛好家が標津沖で釣り上げたサケの重さを競い合う「オールジャパン・サーモンダービーin標津」が、今年も八月三十日、三十一日の二日間の日程で行われ、延べ二百五十三人が参加しました。二日とも曇り空ながら、好コンディションに恵まれた中、

いずれも午前四時半に二十隻の遊漁船に分かれ標津漁港を出港、正午まで腕を競いました。釣果は一日目は百二十三匹、二日目は百八十四匹となり、昨年の四百八十四匹を大きく上回る過去最高の釣果に鹿児島県など遠方からの参加者も満足していました。

第1回からの
サーモンダービー
の参加人員と
釣果状況

大会回数	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
参加人員 (延べ)	264	127	71	159	202	280	265	192	253
釣果	35	86	3	211	456	140	62	484	680
1人当り 尾数	0.13	0.67	0.04	1.32	2.25	0.50	0.23	2.52	2.69



新記録となる重さ7.42キロの
大物を釣り上げた小谷さん

超大物7.4キロを釣り上げた 小谷さん(門別町)がチャンピオンに

見事、九代目のグランドチャンピオンに輝いたのは、今年で三回連続の参加の日高管内門別町の小谷俊憲さん(53歳・自営業)。優勝賞金十万円とたくさんの副賞を獲得しました。

小谷さんが釣り上げたのは、これまでの最重量の六・六六キロの

記録をはるかに上回る七・四二キロの超大物。一日目の午前十一時過ぎ、この日三匹目に釣り上げたもの。小谷さんは「ガツンと、すごい手応え。釣り上げるまで三分ほどかかりました。大物を釣りあげることができ、うれしい」と喜びを話してくれました。

参加者の声：

道外の参加者に交通アクセスの資料提供を

道外からの参加者にホテルや会場までの交通アクセスなど、事前にわかりやすい資料を提供願いたい。また、申込み案内の時に町の要覧や観光パンフなども送付してほしいです。このことさらに良い大会になると思います。



高瀬 孝二さん (44)

東京都・会社員
▷釣果5匹(2日目のみ参加)
▷2回目の参加

一日五匹のリミットを十匹に

一日五匹のリミットの上限をできれば十匹にしてほしいですね。このことで、さらに大会が盛り上がると思います。

今回は、同じ会社の仲間と参加。この大会は口コミで伝わっているようです。大会に参加して感心したことは、餌がなくなったり、トイレなどの用事にも事務局の船が来てくれる心配りです。来年もぜひ参加したいです。



平塚 俊博さん (53)

横浜市・航空運送業
▷釣果6匹(2日間)
▷5回目の参加



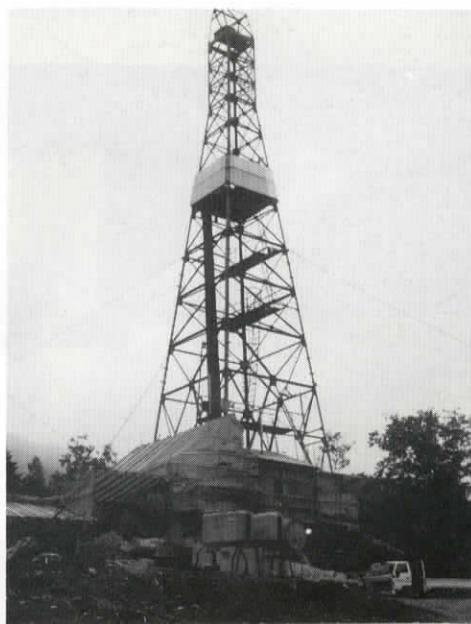
斉藤 隆夫さん (68)

札幌市
▷釣果2匹(2日目のみ参加)
▷6回目の参加

今後も継続してほしい大会です

標準は、サケの水揚げ日本一、目の前には絶好の場所です。大会は年々改善され申し分なく、申込み案内が届くとわくわくします。今後も継続してもらいたいと強く願っています。

TOWN NEWS



発電の可能性も出てきた金山地区
の地熱エネルギー調査

地熱エネルギー調査進む

将来、発電の可能性も

通産省の外郭団体の「新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO・ネド）」が、地熱発電に有望な地熱水の地点を探る地熱開発促進調査を平成五年度から、本町の金山地区と中標津町の養老牛地区を含む約三百平方キロの山地で進めています。

深度千七百三十四メートルまで掘ったボーリング調査の結果、金山地区の自衛隊レーダー基地付近の地点で、二六四度の高温の地熱が確認されました。このことは、地熱発電に必要な二二〇～二三〇

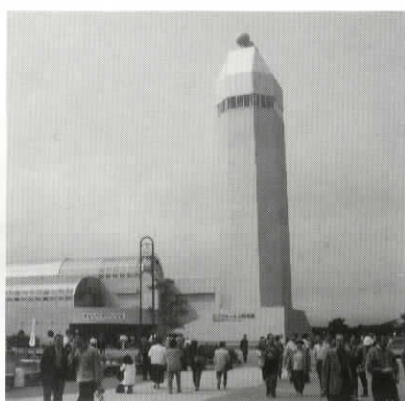
度という温度を超えており、良好な調査結果となりました。

この結果を踏まえて、次の段階の調査、さらに地熱発電の実現性を探る最終段階の調査を実施するかどうかは、「NEDO」が判断し決定することになっています。

実際に地熱発電に至るまでは、少なくとも十年以上の調査期間と十分な調査結果の分析が必要であり、早急に地熱発電が実現するということはありませんが、河川及び水源など環境への影響がないクリーンなエネルギーとして、また、地熱利用の可能性など、本町としても将来に向け期待を寄せています。

オープン以来62万人も の入館者

5周年を迎えたサーモン科学館



平成三年にオープンしたサーモン科学館が九月十五日、五周年を迎えました。

秋サケの水揚げ日本一を誇る本町は、サケにこだわるまちづくりを展開しています。その中心となる、まちのシンボルともいえるのがサーモンパークのメイン施設であるサーモン科学館。観光施設として、サケ文化の伝承と自然との共存を考えた教育の場として、重要な役割を果たしているといえます。

入館者数はオープン以来五周年を迎え、約六十二万人にも達しており、入館者数は減少傾向にあるものの毎年十万人以上を記録。今では長室管内の観光の核の一つと

して定着しているといえます。

五周年を迎えた十五日は、千九百十七人の入館者でにぎわい、当日は十人へ秋サケ・オリジナルグッズとサーモンハウスからサケが贈られました。

同館では「今後は、標津のサケ漁業と連動した観光施設としての充実が必要。八月から十月に集中している観光客が、春から十一月まで多くの人が訪れるよう魅力ある施設にしたい」と意欲を見せています。



五周年を迎えた九月十五日、千九百人余りの入館者でにぎわった同館（サケがそ上する魚道水槽前）

滞在型観光目指し 標津らしい食文化を ～新ふるさとグルメ創作講習会～



観光客へのサービス「」による本格的な滞在型観光を目指し、標津らしい「食」を創作しようとして、町観光協会（千葉元会長代行）主催による「新ふるさとグルメ創作講習会」の第一回講習会が、八月十七日、町生涯学習センター・あすばるで行われました。

この講習会は、旅館や料飲店などの業者を対象に、サケをはじめとする地場産品を用い、一線級のプロを招いてのオリジナルメニューの開発と合わせて料理のレベ

ルアップを目指し、魅力ある「食」の提供による滞在型観光を推進するもの。講習会は、今後年一回程度で三年間を予定。

今回の講習会の講師は、テレビなどで人気の料理研究家の星澤幸子さんと、旅館や料飲店業者二十一人が参加。講習会では、星澤さんはサケを用いた樺寿司やホタテを用いた「ホタテの山かけ」、サケの氷頭の唐揚げなどユニークな料理十一品を指導。参加者たちは、「山かけはまぐろという固定観念があったが、地場のホタテにアレンジしたりまた、サケの氷頭の唐揚げなど、今まで気付かなかった料理方法で、おいしい」と、熱心に作り方などを見入っていました。

講習会受講後、参加者はさっそく旅館や料飲店で新たなメニューとして実際に活用し、客に好評を得ています。

また、同講習会を実施するにあたり、町観光協会の中で組織された、旅館や料飲店業者などによる「新ふるさとグルメ研究会」（柴田久男座長）も発足、同研究会では、来年一月に、サケ文化にこだわった伝統料理（いずしなど）の大会も予定しています。



秋サケ漁が最盛期

漁獲量は順調

九月二日から始まった今年の秋サケ漁が最盛期を迎えています。数量では史上最高の漁獲量となった昨年を若干下回るペースなのものの、九月二十三日現在で六、三九八トンの水揚げで、浜はにぎわいを見せています。

価格は、昨年と比べ、雌は若干の高値、雄は安値となっております。漁は十一月いっぱいまで続きます。

救急のコツ学ぶ

救命教室に29人が受講

標津消防署では、町民に応急手当の重要性を認識してもらうことを目的に「救急の日」の九月九日、あすばるで「普通救命教室」を開催しました。

同教室には、二十九人が受講。



参加者は、実際にダミー人形を使って人工呼吸や心肺蘇生法（CPR）、止血法などについて同消防署員の指導を受けながら、真剣な表情で取り組み、受講後、一人ひとりに講習修了証が渡されました。

いつまでもお元気で 敬老会で歌や踊りを楽しむ

敬老の日の九月十五日、標津地区町内会連合会(足田敏一会長)主催の合同敬老会が、町生涯学習センター・あすばるで行われました。会場には、六十歳以上のお年寄り約百三十人が参加。余興では民謡、舞踊、アコーディオン演奏などが披露され、また、おいしい料理に舌鼓を打ちながら、楽しいひとときを過ごしました。



また、九月十六日には、川北地区でも実施されるなど、各地区で敬老会が行われました。



園児から心の便り

はまなす苑にレタックス

敬老の日に先立ち九月十三日、標津郵便局(朝倉勝美局長)では、はまなす苑を慰問し、町内の保育園児と幼稚園児からの入園者の似顔絵と「いつまでもお元気で」などと書かれたレタックスを入所者一人ひとりに贈りました。

このレタックスの費用は、町内の企業などの協賛で賄われ、心温まる贈り物となりました。



80人の愛郷者が出席

札幌標津会開催

平成六年九月に発足した札幌標津会(村元邁会長・会員百六十六人の第三回総会が、九月六日、札幌市内のホテルで盛大に開催されました。

総会には、約八十人の愛郷者が



会・員・募・集

以前標津町に在住していた方、またはゆかりのある方で、現在、札幌市周辺に在住している方の会員を募集しています。

▼連絡先

・「札幌標津会」事務局長

松原健一さん

☎011-571-8024

・役場企画振興課広報統計係

☎2-2131(内線110)

参加。地元からは、小田桐町長、荒谷町議会議長、佐々木農協組合長など六人が来賓として出席し、会を盛り上げました。

またその中で、事業計画では、新会員の拡大、標津町との交流の推進について議決されました。



交通安全啓発看板を設置

漁協青年部

標津漁業協同組合青年部(梅木雅則部長)では、町内の小学生などに、交通安全の注意を呼び掛けようと「交通ルールを守りましょう」と書かれた啓発看板を設置しました。

同青年部では、十年ほど前から交通安全旗を町内に設置して交通安全を呼び掛けており、この啓発看板は、標津小学校裏の道道川北茶志骨線と西四条通りの交差点に設置され、同青年部の梅木部長は「この看板を見た皆さんが交通ルールを守り、悲惨な交通事故が減少すれば」と話しています。



真剣なまなざし

原爆写真展・講演会

町生涯学習センター・あすばるオープン記念行事の一つとして、「原爆写真展」が八月二十七日から九月一日まで、また、「原爆を語る」と題した講演会が八月三十一日に、同センターを会場に開催されました。

この講演会には、講師に中国新聞社論説委員の栗栖武二郎氏を迎え、赤ん坊の時に自らも被爆した体験や、核兵器や戦争の悲惨さ、平和の尊さなどをわかりやすく説明。会場には、小中学生、高校生、一般を含めて約六百四十人が想像を絶する広島被爆の様子に、物音ひとつたえず、食い入るように講師の話に聞き入っていました。

全国大会で活躍
空手の選手たち



このほど、長野県松本市で開催された、第十回アグレッシブJr全国空手道選手権大会（日本空手道連盟主催）に本町の弘道会（荒谷文明会長）から出場した選手のうち佐賀二ナサラさん（標津中二年）が

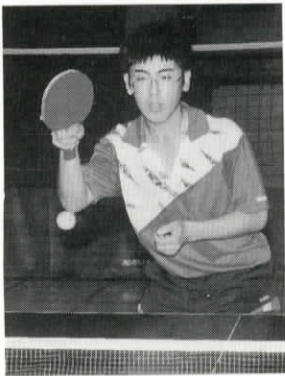
中学女子組手で三位に入り、見事インドネシアで行われる世界大会への切符を手に入れました。同大会は、強豪がひしめく異なる流派が集まる大規模な大会。同会から

八月二十六日から三十一日まで中国・北京市で行われた「新人ポテンシャル北京合宿」に、長谷英彦くん（標津中二年）が参加しました。

長谷くんは、小学六年生から今年まで北海道硬式卓球選手権大会で三年連続全道三位。実力が認め

北京合宿に参加

標津中二年の長谷くん



られ、全国の中学一、二年生二十人が参加するこの北京合宿で、道内枠男女一人の男子一人として北海道卓球連盟から推薦されました。北京合宿では、元世界チャンピオンの郗恩庭コーチの指導を受けたほか、同世代の中国選手との交流試合も行われ、長谷くんは「いい勉強になった。中国の選手は、ラリーが続いても相手はなかなかミスしない。さすが世界のトップレベルだと思った。郗恩庭コーチには、バックやドライブ技術、フットワークを指導してもらい、玉が安定するようになった。この合宿で勉強したことを生かし、十一月の全国大会に向けて頑張りたい」と力強く話してくれました。

は選手が出場し、佐賀さんが中学女子組手で三位に入賞したほか、中学男子組手では早川誠くん（標津中二年）、佐々木孝くん（同）もベスト8に進出し、敢闘賞を獲得するなど活躍を見せました。



大正琴の演奏を披露

釧根支部の交流会

琴名流大正琴・琴悠会釧根支部交流会が九月十日、あすばるで開かれ、会場には根室管内の大正琴のメンバー百人余りが参加し、日頃の腕前を披露しました。

本町からは、標津琴成会、川北琴友会、川北琴和会のメンバー二十五人が参加し、「瀬戸の花嫁」や「デイスコダンス」などの曲の演奏を披露しながら交流を深めました。

農業経営の体質強化を
公社営事業の
説明会開催



町は、八月二十日から二十三日の四日間、平成九年度よりスタートする予定の公社営畜産基盤再編総合整備事業（公社営畜産基地建設事業の後事業）、及び、それと連動した形で推進される北海道二十一世紀高生産基盤整備促進対策事業（平成八年度より実施、農家負担五%事業）の現地説明会を実施しました。

事業の目的は、ガット・ウルグアイラウンド農業合意に伴う新たな国境措置の下で、二十一世紀へ向けた活力ある本町酪農の構築と、国際化に耐え得る農業経営の体質を強化することがねらい。

説明会では、農家の生の要望をストレートに聞き取りましたが、国や道の予算配分にかんがりの制限が加えられる可能性があるため、今後さらに事業量や総事業費の調整などを行い、十二月までには計画を固める予定となっています。

みんなの広場

皆さんの声を
このコーナーに
お寄せください

が明記されていますので、マナーを守り楽しくプレーしましょう。

町宮川北パークゴルフ場・利用案内

▽利用時間：午前九時～午後九時三十分まで。(利用は無料)

▽個人の利用：管理棟で使用申込書に記入。

▽二十人以上の団体の利用：事前に管理責任者・犬童正さん(☎5-2211)に連絡を。

(総合体育館)

連日、多くの町民でにぎわう町宮川北パークゴルフ場



町宮川北パークゴルフ場の利用にあたってのマナーは？

Q 町宮川北パークゴルフ場がオープンし、連日多くの町民でにぎわっていますが、プレーするうえで特に守らなければならないマナーは？

A これだけは必ず守ってほしいマナーは、次のとおりです。

- ①コース内での飲食や喫煙の禁止
- ②芝を痛めることから、長靴や革靴など、かかとの出た靴でのプレーの禁止
- ③プレーは一組四人までとする。(五人以上だと後続のプレーヤーの妨げとなる)

以上の他に管理棟内に注意事項

時事川柳

お世辞笑い政治家選挙近いらしい
昔なら立派な議員も多く出た
こんな政治続けば独裁も良いのかも
一力緑残暑のかおり風涼し
月きよく星とかたらい露天風呂
車窓より映る一力緑七曲り
旦那似の子産んだ嫁に借りが出き
牛の小便もぐらのお宿掘り起こす
輸入魚に負けてなるかとサケの声

布施惣一郎
"
"
戸村 寿生
"
"
太田 明人
"
木枯紋次郎

新町民に スポット

役場財政課

森 浩信 さん



「町民の立場に
立っての仕事を」

根室高校卒業後、今年四月から役場財政課財政係に勤務している森浩信(もり・ひろのぶ)さん(19歳)。

「同じ管内ということで標準へは何度か来たことはありましたが、実際住んでみて、標準の自然や景色の素晴らしさを改めて知りました」と町の印象を話します。

仕事では「正直言ってまだまだ

ケットボールなどのスポーツを通じて、町民の皆さんと多くのふれあいの場を持ちたい」と町民の交流を大切にしています。

「根室から来ましたが、町で見かけたら気軽に声をかけてください。町の職員として、町民として、皆さん、よろしくお願ひします」

昭和五十二年四月八日、根室

戸惑いもありますが、町の予算を扱う重要な仕事なので、慎重に心がけています」「町民の側にたって考えて仕事をすることを motto としていきたいですね」と抱負を話します。

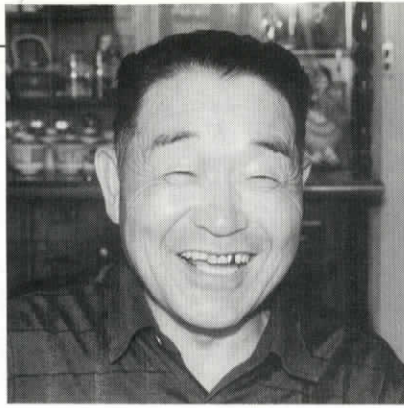
スポーツでは、野球、バスケットボールと町内のチームに所属しているスポーツマン。「野球やバス

市生まれ。趣味は、スポーツとドライブ。スキーの経験があまりないため、冬になったら金山スキー場に出かけ、スキーとスノーボードにも挑戦してみたいとか。家族は、両親と兄が根室市に在住。現在、独身。

いき・いき
人生

大桃 健作さん

(北標津・69歳)



「川柳の魅力は、自分を中心に喜怒哀楽を表現し、事実ばかりではなく、夢やロマンを追いかけるなど、奥深いものがあります」と話すのは、標津川柳社・主幹の大桃さん。

川柳は、十三年前に農協などの役職を退任してから何か趣味を持つととうと始めたのがきっかけ。大桃さんが所属している標津川

柳社は、地域文化の振興に貢献されたことが認められ、平成三年に教育庁根室教育局から表彰されているほどの活躍ぶり。

大桃さんは、同川柳社の会員から作品を集めては、自らワープロで打ち込み、編集し、「川柳くなしり」を毎月一回発行、会員三十三人に送っています。会員の中には、札幌や旭川などに転出された町外在住者も

いつまでも続けたい
奥深い川柳

多いことから毎月楽しみにしており、みんなの作品に目を通すのが待ち遠しいと、会員の声のたよりが届きます。今年六月には、大桃さんらが中心となり、川柳をはじめ俳句、短歌など町内の各文芸サークルから寄稿してもらい編集した「樹木」を発刊。「標津町は文化部門がさびしい」とから、これを機に町の文化復興への足がかりになれば」と話しています。いろいろな想いを歌う、奥深い川柳。大桃さんの活力の源といえます。「今後も一年でも長く続けていきたいですね」▽最後に一句…「百年の計樹を植える古稀の皴」

じぶつ
歴史発見!?



ホー川史跡自然公園
副園長 榎田 光明

6

永く野付に居住してアイヌ語通辞(通訳)を勤めた加賀伝蔵は、安政年間(一八五七年頃)に野付半島のオンニクルー——現在のナラワラ近くに土を運び畑を開き、故郷秋田から種を取り寄せ農作物を栽培したことが知られている。

畑は伝蔵が描いた絵図によると三〇間×五十間、五十間×百二十間、七十間×百三十間の三枚があり、他に井戸と小屋があったようである。絵図の畑の面積は計算す



農夫、茶右衛門
〔「近世蝦夷人物誌」より〕

ると五町歩にもなるが、他の資料によると三分の一町歩ほどと書かれている。

伝蔵が安政四年に作付して収穫があったのは、大麦、小麦、大豆、藍玉、紅花餅、麻糸、豆腐豆、煙草、大根、蕪、五升いも、長いも、からし、百合、夏な、ねぎ、にんじん、三ツ葉、紫草、南瓜、木瓜の二十二種で、なすび、な

農業事始め
伝蔵と茶右衛門

ことを聞き、根室場所ではなにも行なわれていないことを憂い、伝蔵に幕府の主旨を生かして番屋元へ畑を造り雑穀、野菜を作ることを進言して動かし、自分も手伝い開墾を進めたという。

最近、千年位前の道央を中心とした擦文文化の遺跡や道北のオホーツク文化の遺跡からオオムギ、アワ、キビ等の雑穀類の種子が発見され、農耕を示す証拠も出てきている。そして、これらの種子のルーツは本州と大陸の二系統があることが判ってきている。擦文、オホーツク両文化の伝統を受け継いだアイヌ文化も、ヒエ、アワ、キビ、豆類、蕪等の農耕を行ってきたのであった。

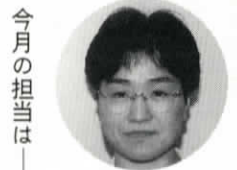
しかし、場所請負が始まると漁場の労働にアイヌ自身の生産活動である狩猟、漁撈、そして農耕も行なえない状態に陥り入れられていたのである。

アイヌ名・ラチャシタキエ——和名・茶右衛門であったことを松浦武四郎が「近世蝦夷人物誌」の中に「農夫・茶右衛門」として伝えている。

茶右衛門は蝦夷地が幕府領になり、西蝦夷地では新道が造られ、新田が開墾されている

茶右衛門が伝蔵に農耕を勧めたのは、アイヌ自身に農耕の経験があったことと、田畑の耕作という幕府のアイヌ和風化政策の上に立って、漁場労働以外の農耕という道を開こうとしたと見るのは間違いであろうか。

健康番 健いち



今月の担当は 加瀬保健婦

増えている「大腸がん」から身を守りましょう

大腸がんは、ここ二十年間で、その死亡者が三倍強となっています。

これは日本人の食生活が欧米化して、動物性脂肪をとる量が増加し、繊維質をとる量が減ってきたためと言われています。

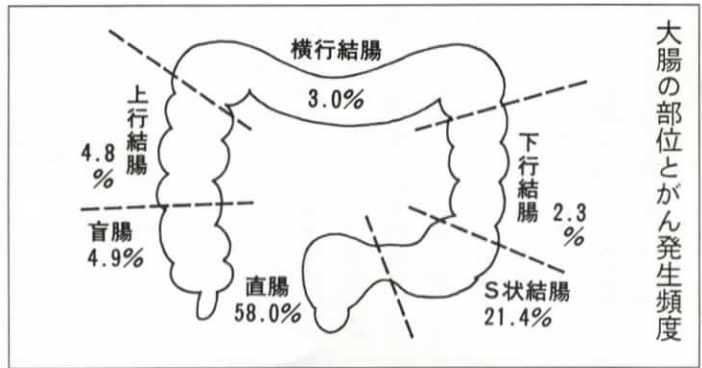
町では、大腸がんの予防として、講話の中でも「大腸がん」をテーマに取り入れて行っています。

大腸がん検診は、平成五年から今までに三回行っています。徐々に受診者が減少しており、昨年は百四十四人でした。

三年間で二名の方が、早期がんで見えられました。早期でしたので治療して、現在お元気で過ごされています。

大腸がんを予防するため、日常生活の注意とあわせて、早期発見

大腸の部位とがん発生頻度



できるような検診を受けることが大切です。

大腸がんはどこにできるか

発生する部位は、肛門の方に近い直腸、S状結腸に多いです。

■ 症状

症状は、がんができる部位によりかなり異なりますが、主な症状は次のとおりです。

- ・下痢と便秘を繰り返す
- ・残便感がある。(排便の後、まだ残っているようでスッキリしない)
- ・肛門から出血する。いぼ血が混

じる。
便が細い。またはコロコロしている。

- ・おなかが張る。痛い。
- ・おなかにしこりがある。
- ・原因不明の出血。

早期大腸がんの場合ほとんど無症状で、便に少量の血液がつく程度です。これが目に見えない場合もあり、それを検出するために検診があります。

■ 日常生活での注意

〈バランスのよい食事〉

* 三度の食事に、海・山・畑のものを食べるようにする。

* 動物性脂肪(バター、チーズ、ラード、肉の脂身等)をとり過ぎないようにする。

* 食物繊維を含む食品を多く食べるようにする。

〈便秘を防ぐ〉

* 便意をがまんしない。

* 毎日一定の時間にトイレに行く習慣をつける。(朝食後が最適)

* 食物繊維を多くとる。

* 水や牛乳など、水分をたくさんとる。

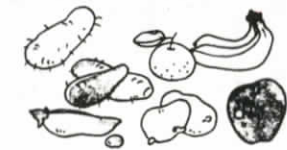
食物繊維を上手にとる 4つのポイント



1. 野菜を毎日300gとる
野菜は蒸したり、ゆでたり、炒めたりしてかさを減らすと、たくさん食べられる。



2. 海藻をたっぷりとる
ひじきは1人前で、1日にとるべき繊維量(20g前後)の約4分の1を確保できる。



3. いも類、豆類、果物を多くとる
種類の違った食物繊維を幅広くとることが大切。



4. “おふくろの味”を多くとる
昔なつかしい切り干し大根、かんぴょうなどの乾物も高繊維。

便秘を治す体操

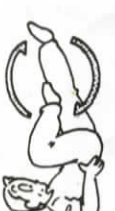
①中腰で前かがみの姿勢をとり、太ももの外側をたたく。20回。



②あおむけになって、足を天井に向けて伸ばし、腰を両手で支える。



③自転車をこぐように足を動かす。2分。



※これらの体操で、太ももの筋肉や腰筋が刺激されることにより便秘が起る。

健康に関することは

役場

福祉保健課保健指導係へ

☎212131

(内線131・135)

* 体をこまめに動かし、腸の動きを活発にする。

日常生活で気をつけたいことは、長い年月にわたっての習慣づけによって効果が現れるので、大人だけではなく、子供も含め家族ぐるみで注意してほしいと思います。



統一した看板の設置も補助金の対象となります

「活力と潤いと やすらぎのある まちづくり事業補助金」 ～ご利用ください～

標津町の豊かな自然と、まちづくりに対する想いを後世に伝えていくため、全町民が一丸となって行動することを決意した「活力と潤いとやすらぎのあるまちづくり条例」を今年三月に制定しました。

この条例に基づき、町では町民の皆さんの自主的なまちづくり事業に対して積極的に支援していくことにしています。

● まちづくり振興事業

対象となる事業及び補助の内容は次のとおりです。どうぞお気軽にご利用ください。

- ・ まちづくりのためのイベント開催や、地域性を生かした産業振興事業などが対象です。
- ・ 補助率 三分の一以内
- ・ 補助金 三万円以上百万円以内

● 景観形成事業

統一した看板を設置する事業、潤いとやすらぎを創る花壇、芝生の整備、花木の植樹事業などが対象です。補助率、補助金額など詳しい内容についておたずねください。

◎ 補助金に対するお問い合わせ

・ 役場企画振興課企画振興係

☎ 二二二二三一（内線一一一）

毎週土曜日は「標津・魚の日」です

新鮮で格安な海の幸を
お買い求めください



新鮮なサケを買い求める町民（9月14日、卸売市場）

新鮮なサケやホタテを漁業者自らが格安販売する「標津・魚の日」が、標津サケ・ホタテ消費流通対策協議会（戸田雅彦実行委員長）の主催により、今年も9月7日から標津漁港内の卸売市場で始まりました。

9月14日には、とれたてのサケを満載したタンクの前に開始前から行列ができ、雄1匹700円、雌1匹1,500円と卸値に近い値段で販売。320匹のサケが売りつくされ、一人で5匹、10匹とまとめ買いする人もいました。漁業者による身おろしサービスも行われ、会場には臨時郵便局で遠方の知人に送る人も目立ちました。

また、カジカやカレイなどの鮮魚や、トバなどの水産加工品も市価より安く販売され、好評でした。

この「魚の日」は、12月中旬まで毎週土曜日午後1時から、標津漁港内の卸売市場で開催され、11月中旬にはサケのほかにもホタテも販売されます。

標津町生涯学習センター「あすばる」オープン事業

鮭料理コンテストの参加チームを募集!!

■日 時

11月3日(日)
午前10時～午後2時30分

■会 場

生涯学習センター「あすばる」

■参加対象

料理に興味のある方ならどなたでも参加できます。ただし、20チームまで(先着順、個人参加可能)

■参加要領

- ・主材料は鮭ですが、副材料は自由に使えます。
- ・出品数は2品以内とします。
- ・事前の仕込み、完成品の持ち込みは可能ですが、2品のうち1品は必ず会場で調理してください。
- ・当日の調理に必要な鮭のみを主催者が用意します(オス、メスの別や匹数をお知らせください)。
- ・まな板、包丁、鍋などの調理器具、調

味料、食材、盛り付け用食器などは各自用意してください。

- ・ガスコンロ、ガスオーブンは主催者で用意します。
- ・調理時間は、午前10時10分から午後0時30分までとします。
- ・参加者は、申込みの際に、調理の方法(レシピ)をお知らせください。

■賞・副賞

- ・優勝……5万円、副賞 鮭絵皿
- ・準優勝……3万円、副賞 鮭絵皿
- ・3位……1万円、副賞 鮭絵皿
- ・審査員奨励賞…若干、副賞 鮭絵皿
- ・参加賞

■審査員

藤井修一氏(章月グランドホテル料理長)ほか3名

■参加申込み

10月7日(金)から10月21日(金)までに所定の用紙に必要事項を記入

し、次のとおりお申込みください。用紙は電話、FAXでご請求ください。

〒086-16

標津町字標津1330番地77

生涯学習センター「あすばる」内

鮭料理コンテスト事務局 宛

☎(01538)2-2900・FAX2-2901

■主 管

鮭料理コンテスト実行委員会

■共 催

標津町教育委員会、北海道新聞社、標津漁業協同組合、標津漁業協同組合婦人部、ふるさとグルメ創作研究会、標津町サケ・ホタテ消費流通対策協議会、標津町文化祭実行委員会

★お問い合わせは、生涯学習センター「あすばる」(☎2-2900)まで。

10月は「国民年金強調月間」です。

国民年金について、お気軽にご相談ください。

「年金相談室」を開設

国民年金制度が昭和35年に発足して今年で36年が経過しました。その間、国民年金は広く国民に定着し、老後の生活を支える確実なものとして成長を続けており、当町でも、平成7年度末で928人の方々が受給されています。

当町では、平成8年8月より、65歳に到達される被保険者に対し「国民年金裁定請求のご案内」を通知し、年金試算額も併せてご案内しています。

これは、年金受給権のある方の請求漏れを防ぐものであり、年金受給者がより一層スムーズとなります。

今月は「国民年金強調月間」ということで、期間中、役場内に「年金相談室」を開設しましたので、お気軽にご利用ください。

便利な口座振替を利用しましょう

国民年金は、20歳から加入し60歳になるまで納付することにより、満額の年金が得られます。

国民年金保険料の納入には、仕事などが忙しくてなかなか納付に行けない人のために、便利な「口座振替制度」があります。この口座振替制度は、毎月自動的に口座から引き落とされますので、納付する時間がなくても納めることができ、大変便利です。

役場国民年金係、町内各郵便局、根室信金、漁協、農協などでその取扱いを行っていますので、ぜひご利用ください。

★お問い合わせは、役場住民課国民年金係(☎内線130)まで。

INFORMATION BOX

町民交通傷害保険に 加入しましょう

■加入資格

町内に住んでいる方及び町内に通勤、通学している方。

■保険金が支払われる場合

日本国内において車両に乗っていて、衝突、墜落、転覆した場合や、歩いてこれら車両にはねられたりひかれたりした場合。ただし、航空機、船舶などによる事故は対象外。

■保険料（掛け金）

一人一口600円（1年分）。ただし、一人二口までに限ります。

★加入、お問い合わせは、役場住民課交通住民係（☎内線128）まで。

危険物取扱作業の 保安講習を実施

■日 時 11月19日（火）

■会 場 中標津消防署講堂

■申込期日 11月4日（月）まで

★申込み、お問い合わせは、標津消防署管理課予防係（☎2-2319）まで。

秋の全道火災予防 運動を実施します

■スローガン

『便利さに慣れて忘れる火のこわさ』

■期 間

10月15日（火）～10月31日（木）

■家庭での防火の心得

- ・暖房機器（具）は、点検整備を十分行ってから使用しましょう。
- ・就寝前には、必ず火の元の確認をしましょう。
- ・家庭には最低1本の消火器を備えましょう。

※ この期間中、火災予防パレードの実施のほか、ホテル、旅館を対象とした防火査察を実施します。

また、標津消防署及び標津消防団第1分団（標津地区）、第3分団（川北地区）では、火災を想定した不時演習を実施します。当日は、サイレンを鳴らし消防車が緊急出動しますので、火災とお間違えのないようお願いいたします。

—標津消防署—

戸籍の窓口から

（8月11日～9月10日届出分）

お誕生おめでとう

おなまえ	住 所	保 護 者
秋山 琴美ちゃん	曙 町	秋 山 義 則 町 博 次 子 美
黒田 聖菜ちゃん	緑 町	黒 田 博 次 友 美
中川 道博くん	望ヶ丘町	中 川 勝 己 喜 美 子
前田 萌子ちゃん	薫 別	前 田 和 彦 あ さ 子
沼田 泰治くん	緑 町	沼 田 唯 好 園 子
森 喜敬くん	弥 栄 町	森 寿 武 美 子
山形 翔平くん	望ヶ丘町	山 形 卓 有 矢 美 紀
徳永 美和ちゃん	共 栄 町	徳 永 幸 真 紀 子
井上 祐輔くん	緑 町	井 上 厚 玲 子
川森 有紗ちゃん	緑 町	川 森 一 和 寿 子
渡辺 颯くん	双 葉 町	渡 辺 一 智 弥 子

ご結婚おめでとう

夫の氏名	妻の氏名	住 所
金田 順也さん	滝尾美佐子さん	住 吉 町
本間 耕一さん	渡邊 美和さん	曙 町

おくやみ申し上げます

氏 名	住 所	年 齢
橋 詰 徹朗さん	北 川 北	61歳
千 葉 税さん	川 上 町	62歳
石 黒 勝年さん	桜 木 町	46歳
堤 シゲさん	栄 町	73歳
椎久孝三郎さん	望ヶ丘町	53歳

寄付・寄贈

ありがとうございました

●町社会福祉協議会に——

- 活動資金として
- ・聖友標津支所 香典返しをやめて
- ・大須賀せつ子さん
- ・斉藤一さん
- ・堤徳夫さん

●はまなす苑に——

- ・龍雲寺梅花講・大須賀旅館
- ・伊藤初雄さん

●標津病院に——

- ・大須賀せつ子さん

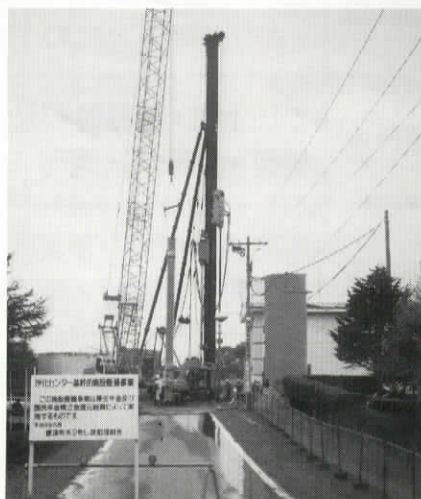
厚生年金・国民年金積立償還融資を受けて——

浄化センターの施設整備工事を 実施しています

標津町外二町し尿処理組合・浄化センターでは、厚生年金・国民年金積立償還融資を受けて、施設整備工事を実施しています。

この工事は、し尿汲取時に入っている汚物や最終処理過程では排出する汚泥や浄化槽汚泥を焼却する施設を建設するものです。

工期は平成9年3月25日までとなっており、工事期間中、皆様にはし尿受入制限などご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。



統計調査

事業所・企業統計
調査にご協力を

10月1日現在で、全国一斉に事業所・企業統計調査が行われています。調査票のご記入はもうお済でしょうか。調査員が調査票を集めに各事業所にお伺いしますので、まだ記入されていない場合はお早めにご記入下さるようお願いいたします。

★お問い合わせは、役場企画振興課広報統計係（☎内線110）まで。

ラジオ番組

標津町が放送されます

HBCラジオ番組「市町村アワー」で、標津町が放送されます。

■日時 10月12日（土）

午後5時～（30分間）

■内容 「ふるさとづくり」をテーマに町長を囲んでの座談会など
—役場企画振興課広報統計係—

スポーツ

10月のスポーツ

9日（日）

▷町長杯球場納め野球大会

〔9時30分～町営球場〕

▷管内バドミントンダブルス大会

〔9時～総合体育館〕

10日（木）

▷ふれあいスポーツデー

〔8時30分～総合体育館他〕

11日（金）・15日（火）・18日（金）

▷ファミリーバドミントン教室

〔19時～総合体育館〕

20日（日）

▷第15回バドミントン大会

〔9時～総合体育館〕

26日（土）～27日（日）

▷スポーツ少年団認定指導員講習会

〔13時～総合体育館〕

健康相談・健診日程表

〈10月分〉

乳幼児

■離乳食教室

3日（木）

〔13時30分～／あすばる〕

■乳幼児相談

15日（火）〈標津〉

〔9時30分～10時30分・13時30分～14時30分／あすばる〕

※午前の部 10・13カ月児、午後の部 4・7カ月児対象

17日（木）〈川北〉

〔13時30分～14時30分／川北生涯学習センター〕

※4・7・10・13カ月児対象

■乳児健診

28日（月）

〔13時～13時30分時／役場2F 集会室〕

■1歳6カ月児健診

29日（火）

〔9時～10時／役場2F 集会室〕

■歯ピカ教室

7日（月）・8日（火）

〔9時30分～10時30分・13時30分～14時

30分／あすばる〕

成人

■一般健康相談

7日（月）

〔13時30分～15時／茶志骨パイロット会館〕

17日（木）

〔10時～11時30分／川北生涯学習センター〕

25日（金）

〔13時～16時／役場相談室〕

■糖尿病健康相談（予約制）

16日（金）

〔10時～16時／役場相談室〕

■大腸がん検診

23日（水）

※時間、場所については、後日ちらしなどでお知らせします。

妊婦

■マラスクール

4日（金）・9日（水）・18日（金）・25日（金）

〔13時～15時／あすばる〕

★お問い合わせは、役場福祉保健課（☎内線129・135・131・138）までお気軽に

ごみの収集日

曜日	一般廃棄物収集区域 （祭日は休みです）〈有料〉	不燃物収集日 〈無料〉
月・木	新川上町・若草町・川上町・栄町・ 緑町・弥栄町・曙町	10月3日・10月17日 （木）（木） 11月7日 （木）
火・金	本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町・ 桜木町・住吉町・東浜町	10月4日・10月18日 （金）（金） 11月8日 （金）
水・土	川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠・ 薫別・崎無異・古多糠	10月2日・10月16日 （水）（水） 11月6日 （水）

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

INFORMATION BOX

相談

民事・家事調停 無料受付相談

第37回法の日週間行事の一環として、次のとおり民事・家事調停受付相談を実施します。

費用は無料で、秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

- 日 時 10月下旬
- 場 所 川北生涯学習センター
- 相談員 調停委員、裁判所書記官
- 相談事項 金銭、土地建物、夫婦、親子相談など
- 主 催 標津簡易裁判所、釧路家庭裁判所標津出張所、標津調停委員会

★日時は新聞などでお知らせします。同簡易裁判所では、これ以外にも随時相談に応じますのでお気軽にご相談を。

募集

道立農業大学校学生を 募集します

- 募集学科、募集人員及び修業年限
- (1)畜産経営学科及び畑作園芸学科
60人（推薦入学は概ね5割）2年間
- (2)稲作経営専攻コース
10人（推薦入学は概ね5割）2年間
- 応募資格
- (1)推薦入校
・高等学校を平成9年3月卒業見込で学業成績概評がB段階以上の者
・本校を卒業後に、道内で農業に従事する意志を有する者
- (2)一般入校
・高等学校を卒業（平成9年3月卒業見込を含む）または、これと同等以上の学力を有すると認められる者
- 受付期間
- (1)推薦入校
平成8年11月25日～平成8年12月2日
- (2)一般入校
平成8年12月2日～平成8年12月9日

★受付、お問い合わせは、役場農林課農政係（☎内線214・234）まで。

くらし

知っていますか？ 最低賃金

道内で事業を営む使用者及びその者に使用される労働者（臨時、パートタイマー、アルバイトなどを含む）に適用される北海道最低賃金が、次のとおり改定されました。

- 最低賃金額 日 額 4,780円
時間額 598円
- 効力発生日 平成8年10月1日
- ・最低賃金以上の賃金を支払わない場合最低賃金法違反となり、処罰されることがあります。
- ★お問い合わせは、釧路労働基準監督署（☎0154-42-9711）まで。

助成金・融資・給付金

「公害防止資金」の需要 調査を実施します

(財)北海道公害防止基金協会では、平成9年度「公害防止資金」の需要見込み調査を行っています。来年度に融資を希望される事業者の方は、10月18日（金）までに役場住民課までご連絡願います。なお、あらまは次のとおりです。

- 対象者
道内に工場・事業所を有し、原則として1年以上の事業実績がある事業所
- 資金の使徒
・ばい煙、騒音、悪臭、廃液を防止、処理するための機械、装置などの購入費
・公害防止のための工場、事業所などの移転に必要な経費
- 融 資 額
施設改善などに要する費用の80%以内で原則として2,000万円を限度とする
- 利 率 年3.0%
- 償還期間 10年以内
- 返済方法 半年ごとの元金均等償還
- ※今回は借入申込ではありませんが、平

成9年度に新たに申込みをしていただくことになります。

★申込み、お問い合わせは、役場住民課環境衛生係（☎内線130）まで。

「コミュニティ助成事業」で イベント用品を購入しました

川北パークゴルフ愛好会（犬童正会長）では、(財)自治総合センターの「コミュニティ助成事業」の助成を受け、テントやベンチ、拡声器、芝刈機などを購入しました。

この事業は、同センターが全国自治宝くじ普及広報事業費として受け入れるくじ受託事業収入を財源として、住民の行うコミュニティ活動を促進しその健全な発展を図るとともに、宝くじの普及広報を目的として行われるものです。

同会では、町からの委託を受け、今年度から供用開始された川北パークゴルフ場の管理運営を行っており、今回の購入でより一層コミュニティ活動が充実されることが期待されます。



戦傷病者などの妻の方に特別 給付金が支給されます

特別給付金国債の最終償還を終えた戦傷病者などの妻の方、また、戦傷病者などの妻に対する特別給付金を平成8年5月まで受給したが、夫である戦傷病者が平成5年3月31日までに死亡している場合、その妻の方に特別給付金が国債により支給されます。

★お問い合わせは、役場福祉保健課社会福祉係（☎内線137）まで。

まちの声 ⑫5

「標津に来て 2年が過ぎて」



堀 裕美さん

(古多糠)

古多糠小中学校・教諭

すべてが新鮮、すべてが感動、すべてが喜びでした。「牛がいっぱいだ!」「天の川がはっきり見えるよ!」「し、し、し、鹿っ!」

「何食べてもおいしいっ!」「道がずっとまっすぐだ!」

早いもので、私が愛知県からこの町「標津」へ来て、二年半が過ぎようとしています。現在、言葉について言うと、愛知の友人からは、面白がって「くなんだ」「くっしょ」とマネをされ、学校では、子どもに「先生、なまってる!」と言われるという、かわいそうな立場にあります。しかし、心配していた冬も、無事二回経験したし、パークゴルフのスティックを購入して、夏はパークゴルフ、冬はスキーやスケートに励むなど「私も

すっかり北海道民・標津町民よね!」と勝手に思い込んでいる今日この頃です。

さて、私同様、美しい景色、おいしい食べ物・空気・水・温かい人柄に魅せられて、本州から我が家を訪れた人二十名余りが、口をそろえたように、「(心の底から)本当にいいところだね」と言ってくれます。私も本当にその通りだと思います。

ただ、私自身に関して最近言えるのは、このすばらしい環境にすっかり慣れ、当たり前のように感じ、最初の頃のような気持ちを忘れてしまっていないだろうかという事です。これは、非常にもつたいないことだと思えます。これを機会にこの町「標津」の環境のすばらしさを再認識し、感謝の気持ちを忘れずに生活していきたいと思っています。

これからもよろしく願っています。

◇

▽次の「まちの声」は緑町の佐々木英俊さんです。

編集のまど

▽今年の四月号の中で、町民から広報紙へのご意見や要望をお聴きし、今後の広報紙づくりに反映させようと、座談会「住民からみた広報紙」を開催。その中で「友好都市・青森県大畑町は、どういう町なのか」と、広報紙で紹介してほしいとの声がありました。▽そこで今回、大畑町を訪問することを聞き、「大畑町を紹介するチャンスだ」と思い、同行させてもらい、今月号の「大畑町を訪ねて:」の記事になりました。▽初めて大畑町を訪問しての印象は、まずイカのまちといわれるとおり、新鮮なイカ料理の数々と、樹齢三百六十年のヒバの大経木。そして、まちをあげて温かく迎えてくれた町民の皆さんのやさしさでした。▽今後お互いのまちの発展につながるような様々な交流を期待しています。

(H)

人のうごき

・人口 6,723人 (+11)

・男 3,262人 (+9)

・女 3,461人 (+2)

・世帯数 2,334世帯(+8)

▷平成8年9月1日現在
()は前年比

町内の交通事故

・人身事故 2件(9)

・負傷者 3人(8)

・死亡者 0人(0)

・物損事故 13件(160)

▷8月16日~9月15日まで
()は累計

広報しべつ

- ・発行日/平成8年10月1日
- ・編集・発行/標津町役場 総務部企画振興課広報統計係
〒086-16 北海道標津郡標津町字標津3番地5
☎ 01538-2-2131・FAX 2-3011
- ・印刷/標津印刷(株)